

～ 弁天町から始まる、新しい出会いと交流～

# 港区土地区画整理記念・交流会館

2024年春 開館



## 施設概要

交流会館は、港区民センター、港区老人福祉センター、港区子ども・子育てプラザを機能移転するとともに、図書館を備えた今後の港区のまちづくりに貢献する公共施設です。3階は連絡通路によって、大阪メトロ弁天町駅、大阪みなと中央病院に接続します。

8F 港区民ホール  
7F (港区画整理記念ホール)



港区民ホール (港区画整理記念ホール)

6F 港区民センター



みなとラウンジ (多目的交流スペース)

港区老人福祉センター  
5F 港区子ども・子育てプラザ

港図書館  
4F 区画整理記念スペース

遊びに来てね!



みなとラウンジ  
(多目的交流スペース)  
港区民センター受付



Osaka Metro弁天町駅  
に接続

3F 調剤薬局/コンビニエンスストア

2F 駐輪場

1F 駐車場



港区磯路1丁目7-17

# 戦災復興に向けた土地区画整理事業

## ○きっかけ

**港区**は、江戸時代に現在の安治川下流域を新田開発して生まれたまちで、明治時代に土地所有者や土地会社によって宅地化されました。当時、市街地の道路の多くが狭い私道で、公園に至っては3箇所しかありませんでした。



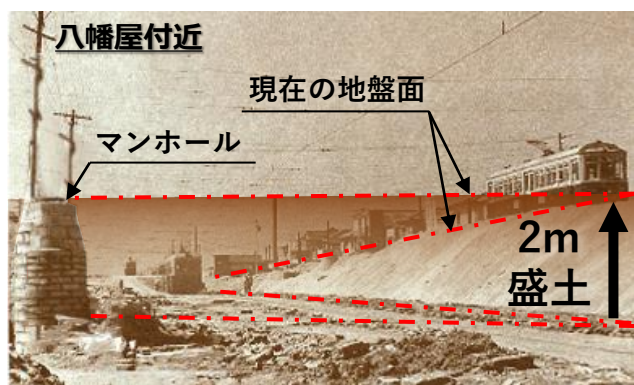
港区は太平洋戦争（昭和20年終結）とその後の台風による高潮によって壊滅的な被害を受けました。「**大阪市の復興は港から**」をスローガンに、土地区画整理事業と併せて大阪港の修築事業と高潮対策事業を実施し、まちの復興を進めました。



## ○事業内容

**1948**（昭和23）年から**1992**（平成4）年まで「港地区復興土地区画整理事業」を実施しました。安治川の拡幅など大阪港の修築事業によって生じた土砂を使い、区域のおよそ9割を約2m盛土した、世界でも類を見ない大規模な土地区画整理事業でした。

**土地区画整理事業**は、中央大通（築港深江線）・国道43号（尼崎平野線）などの広幅員道路をはじめ、八幡屋公園を含む26箇所の公園を整備するなど、安心・安全で快適な港区のまちづくりに大きく貢献しました。



## 港区土地区画整理記念・交流会館建設の経緯と目的

この、**世界**でも類を見ない大規模な土地区画整理事業を記念し、交流会館を建設することになりました。本施設は、そのまちづくりのあゆみを後世に伝え、市民の文化・交流活動の場となる公共施設です。

世代を超えて人々が出会い、交流・活動し、ここで得たものや生まれたもので、さらに「つながり」の輪がまち全体に広がっていく「**出会いと交流の起点**」となる施設をめざしています。

### 目的

まちづくりのあゆみを伝える拠点

**出会いと交流の起点**

出会いと交流が生まれる起点

災害時の防災拠点



**2025年4月、  
港区は区制100周年**

問合せ先：港区役所 協働まちづくり推進課（エリア開発推進）  
ところ：港区市岡1丁目15-25（港区役所 5階）  
TEL：06-6576-9978 FAX：06-6572-9512